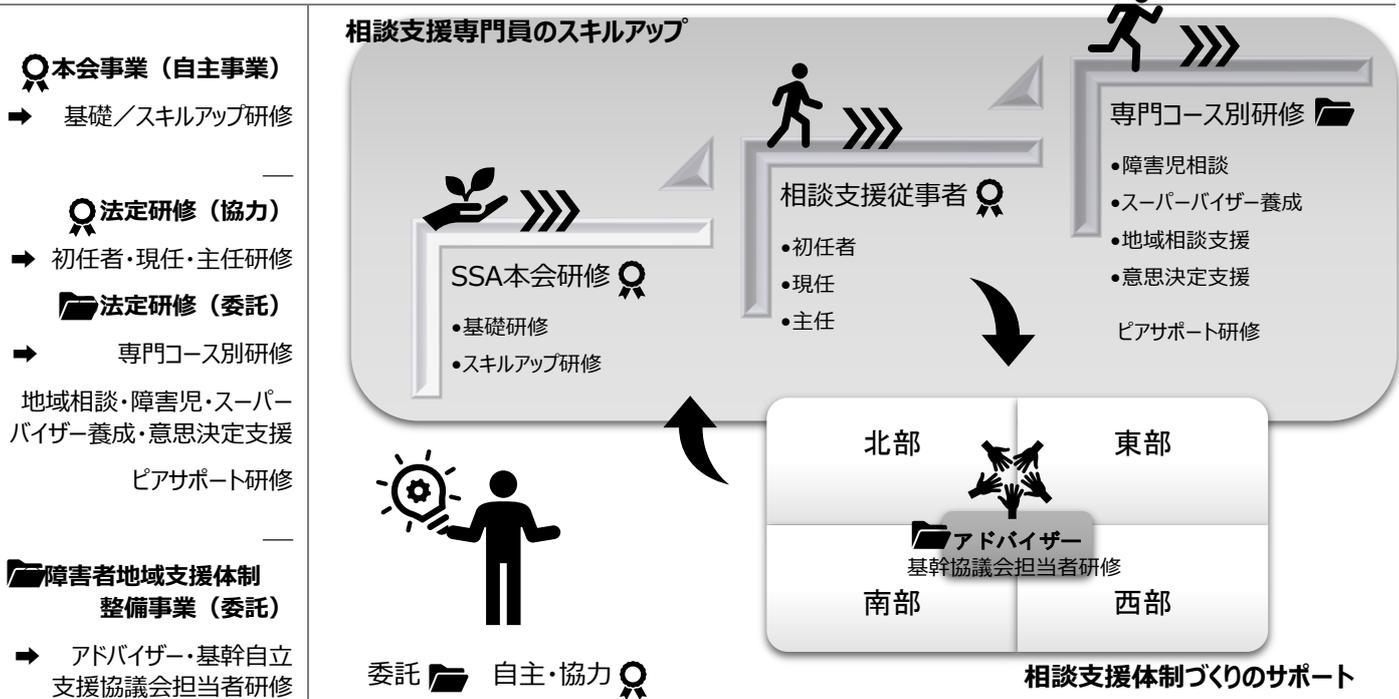


SSA の活動を通して、埼玉県の人材育成・体制整備を知る！

相談支援専門員になったけど、いろんな研修にどう参画したらいいの？相談支援体制を作る仕組みって、どうなっているの？そもそも SSA って何やってる職能団体・・・？そんなあなたのモヤモヤを紐解ききっかけ号です。相談支援を楽しむヒントがあるかも？



- 〇 本会事業（自主事業）**
 - 基礎／スキルアップ研修
- 〇 法定研修（協力）**
 - 初任者・現任・主任研修
- 📁 法定研修（委託）**
 - 専門コース別研修
 - 地域相談・障害児・スーパーバイザー養成・意思決定支援
 - ピアサポート研修
- 📁 障害者地域支援体制整備事業（委託）**
 - アドバイザー・基幹自立支援協議会担当者研修

SSA の今、今後の相談支援人材育成

SSA の活動は、『相談支援専門員のスキルアップ』と『相談支援体制づくりのサポート』の 2 本柱で行ってきました。特に『相談支援体制づくりのサポート』に力を入れてきたのは、法定研修はもろろん、地域の相談支援体制の整備、OJT 体制の構築、いわばスーパービジョン（GSV）ができる地域づくりが人材育成において重要だと考えてきたからです。

国の制度も同様、初任現任研修のカリキュラムは新しいものとなり、基幹相談支援センターの設置が進み、主任相談支援専門員が養成されるようになりました。初任現任研修のインターバル実習では、受講生は自分の地域の基幹につながる、まさに研修と地域の OJT の連動を体感することになります。主任相談支援専門員が法定研修の講師を担うのも、その連動を担う立場・役割につながります。

今後 SSA は、これまで力を入れてきた『相談支援体制づくりのサポート』は地域の基幹・主任にその役割を期待しながら、その基幹・主任に向けての『相談支援専門員のスキルアップ』にも力をいれていきたいと考えています。そのために、県（法定研修）・各地域・協会それぞれの立ち位置や連動の全体像を目に見える形にした新たな「人材育成ビジョン」を整理し、うち出していきます。そのビジョンを共有すること。人材育成のゴールは、相談支援の質の担保であり、障害があってもその人らしい暮らしが地域で実現できるようにしていくことです。

「こんな相談支援専門員になりたい」。SSA は、仲間づくりをしながら、一緒に主体的に“学んで”いく埼玉、そんな協会、相談支援専門員を目指していきたいと思ひます。

埼玉県相談支援専門員協会 (SSA) は
相談支援の質を高め、
地域の支援体制を作る、
事業実施・協力をしています。

【発行】

特定非営利活動法人
埼玉県相談支援専門員協会

住所：埼玉県東松山市松葉町
2-17-43

E-Mail : info@ssa-b.com



法定研修 初任者・現任・主任

* 埼玉県の法定研修は、当協会の会員や役員も研修の企画立案や講師として協力しています。協力状況から見えることをお伝えします。

○相談支援従事者初任者研修

4つのブロック（東・西・南・北）に分かれて実施しています。研修では相談支援の実践に必要な基本的な価値や知識・スキルを学んでいたが、従事者の裾野を広げるとともに、質の向上に向けた基盤を整えていくことをねらいとしています。

○相談支援従事者現任研修

初任者研修をベースにしながら、あらためて個別やチームアプローチによる意思決定支援を学び、さらには地域課題へのアプローチやスーパービジョンを学ぶことで、より地域づくりを視野に入れた実践者が増えていくことを期待しています。今年度は初めてのオンライン開催となり、約300名の方々が受講されました。

○主任相談支援専門員研修

現任研修を修了した後、36か月相談支援に従事すると「主任相談支援専門員研修」を受けることができます。埼玉県では、3年間で120名を超える主任相談支援専門員が誕生し、第一線のソーシャルワーカーとして、地域の人材育成や地域づくりに邁進しています。

新カリキュラムにおいて導入された初任・現任研修のインターバル実習では、受講者の学びの機会のみならず、実習を受け入れる側のスーパービジョンの実践の場と位置付けています。このような体系により、各研修の講義や演習、さらにはインターバル実習が連動し、循環することで県内の人材育成の充実が図られていくことを期待しています。

基礎研修



相談支援開始2～3年未満の方を対象に、全4回を1シリーズにして相談支援専門員としての入り口の研修を実施しています。

具体的には相談支援専門員としてのものの見方や経験の積み上げ方、情報収集(アセスメント)や面接の仕方など、これから専門職として活躍される皆様にとって、大技・小技必須のスキルの基礎を身に付けてもらうものです。

SSAの自主事業ということもあり、研修を企画・実施する中で、若手や中堅の相談支援専門員自身のスキルアップ、仲間づくりの場ともなっています。

スキルアップ研修

文字通り相談支援専門員のスキルアップを目的として研修を実施しています。

基礎研修や法定研修とのつながりも意識しながら相談支援専門員に必須のスキル向上に資する取り組みです。直近では生物心理社会モデル(以下BPSモデル)を取り扱っています。若手から中堅はそのスキルの向上を、ベテランは今一度日頃の業務の点検を図るといったことなどを意識しています。

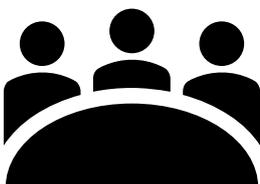
今後も各種研修や法制度の動向、地域の相談支援事情を見定めながら研修を企画・実施していきたいと思えます。

基幹・協議会担当者職員研修

法定研修インターバル実習でつなぐ地域相談支援機関連携の在り方

現行の法定研修カリキュラムでは、地域の基幹相談支援センター等に伺い実習を行っていくことが求められていることをご存知かと思えます。しかし各地域において「どのような受け入れ体制を整えていけばよいか」、「実施方法について確認したい」との声も聞かれたため、各地域の基幹相談支援センターの相談支援専門員の方や市町村行政の方と法定研修における実習の受入方法について共有を行いました。

これからは、法定研修と地域での人材育成が連動することがより重要となり、地域の中で人材育成の役割を担う基幹相談支援センターや主任相談支援専門員の期待が高まっています。相談支援体制の検討を行っていく上でそれぞれの役割と機能について改めて検討・振り返りを行っていただくとともに、地域全体で人材育成を行っていける地域づくりを進めていただければと思います。



専門コース別研修

法定研修は初任者研修・現任研修・主任研修の他、「専門コース別研修」があります。

初任・現任・主任研修を受けるだけでなく、より専門的な力をつける入口として設定されているこの研修、扱われるテーマや目的は国でも重要とされているということになります。その観点で受講や振り返りしてみることもスキルアップに繋がるのではないのでしょうか。



地域相談支援

共通テーマで関係機関と共に作る、地域で暮らす支援体制

ここ数年、『医療と保健・福祉の連携研修』【指導者研修】～精神障害にも対応した地域包括ケアシステムを考える～として実施しています。対象者は、埼玉県相談支援体制整備事業アドバイザー、埼玉県地域移行・地域定着ピアサポート活動促進事業受託事業所職員、基幹相談支援センター職員、保健所職員です。最新の情報を共有していただき、圏域ごとに「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」「医療と保健・福祉との連携強化」、「人材の育成・研修の実施」に取り組んでいただいています。

この間、県の障害者支援課、障害者福祉推進課、疾病対策課、精神保健福祉センター、保健所、そして埼玉県精神科病院協会の皆さんにご協力をいただきながらつくってきた研修です。

障害児相談

実践者の裾野を広げる発達・家族・地域支援視点

障害児相談の研修では、セルフプランの多さを背景にしつつ、実践者の裾野を広げることをねらいとして実施しています。研修では発達支援・家族支援・地域支援の3つを柱にしながら、障害児相談支援の基礎的な内容についての学びを提供しています。“障害のある子ども”である前に、ひとりのかけがえのない“こども”であるという価値観や、基本的な姿勢をベースにしながら、アセスメントやプランニング、さらには地域の中での多職種連携などについて、2日間の講義・演習を通じて学んでいただく研修となっています。

スーパーバイザー養成

ストレングス GSV を体得、地域人材育成を考える

スーパーバイズの機能と重要性を理解し、地域で人材育成体制を構築することを狙いとした研修。ストレングスモデルを軸にグループスーパービジョンを学びます。ストレングスモデルを基礎から学べるのはこの研修だけ！ということで、グループスーパービジョンを通してケースのリカバリーストーリーに寄り添い、地域でどう充実した暮らしができるかということに向かいます。そして、その視点を共有した近隣の市区町の仲間と、自分の地域では人材育成をどのように行うか、地域の強みは何か、支援者を支援する仕組みの構築などの学びを深めます。



意思決定支援 **本当の意味の「意思決定支援」を学ぶ。「意思」を「決定」していくために、必要なことは？**

「意思決定支援」、この言葉を聞いて何を思いますか、何をイメージしますか。相談支援従事者現任研修でも、意思決定支援の視点は、大切な柱として演習が組まれています。同じ言葉で同じ支援や状況が、皆様の地域で描けているのでしょうか。

専門コース別研修では、今年度初の取組みをしました。この分野で第一線の水島俊彦弁護士、筑波大学名川勝先生、そして相談支援における価値観を含めて日本相談支援専門員協会代表理事菊本圭一様の講義、演習にて、共通理解を得てきました。各地域で「意思決定支援」という言葉で行われる支援の質が等しく高まっていくための取組を、今後も深めていきます。

ピアサポート養成 **共に働く仲間としての共通理解。価値観の転換を起こす、地域共生社会への第一歩**

この研修は、①自ら障害や疾病の経験を持ち、その経験を活かしながら、他の障害や疾病のある障害者の支援を行うピアサポーターを養成すること、②ピアサポーターの活用方法を理解した障害福祉サービス事業所等の管理者等の養成を図ること、③障害福祉サービス等で質の高いピアサポート活動の取組を支援することを目的としています。

研修の実施にあたり、様々な障害領域の皆さんと専門職でワーキングチームをつくって準備をしています。その数 24 人。ここでのやりとりも実に楽しいのですが、実際の研修受講者の満足度もとても高く、「今までの受講した研修で最高！」という声が障害当事者、専門職の双方から聞かれています。障害領域を越えて「一人暮らし」「恋愛」「仕事」「ピアサポート」「家族」などでは大いに盛り上がり、専門職も感嘆の声を上げるほどで、従来の価値観を越える貴重な機会となっています。これからのピアサポーターの活躍は、私たちが目指している地域共生社会に向けた大きな一歩となるでしょう。

アドバイザー事業

アドバイザー事業は県からの委託事業です。

地域によって差が生まれないように、県全体で質が担保されるように、県内 4 つのブロックに分けアドバイザーを配置し、地域の支援体制の整備、ネットワーク構築に向けた助言・指導調整を行っています。東西南北それぞれの色を出しながら、活発に盛り上がっています。

自分たちの地域だからこそ、自分たちではわからないこと、自分たちには見えにくいことがあるかと思えます。そんなとき、情報提供や他地域の取り組みを聞くことや、直接アドバイザーの派遣依頼をすることで、新しい発見や後押しが得られるはず。また、アドバイザー側からも、様々な地域の課題を一緒に考えることで、新たな気づきや引き出しが増え、結果的に自身の地域や他地域にも活かせることもたくさんあります。

この事業を活用することは、一方的ではなく、埼玉県全体での盛り上がりにつながってくると思えます。ぜひ、手を挙げて、積極的にアドバイザーの活用をしていただければと思っています。



東部ブロック **現場に即した意見交換。明日への活力！**

年 4 回の基幹連絡会で、互いの地域状況を共有し今後活かしています。同じ立場だからこそ分かち合える、その場でしか吐露できないような本音を含めて話し合い、明日からの活力にしています。今後、新設された基幹の方にも参加して頂ける事を、心待ちにしております！

西部ブロック **基幹相談支援センター設置率高。質の深化へ**

西部ブロックはほとんどの地域で基幹相談支援センターが設置されており、それぞれの地域の中で中核的な機関として地域づくり・人材育成体制が進んできているところです。これからも各地域が活性化していくようブロックの皆さんと一緒に盛り上げていきたいと思えます。

南部ブロック **事業に連動した取組。顔が見えるネットワーク**

配置型アドバイザー事業では、基幹・協議会研修で行った法定研修におけるインターバル実習の意義や方法の実際について情報交換を行っています。市からの依頼に応える派遣型アドバイザー事業では、基幹センターの設置、医ケア児者の協議、地域生活支援拠点等の取り組みなど依頼されたテーマ毎に、地域が動き始めるきっかけ作りをサポート。年々、顔が見えるネットワークが広がっています。

北部ブロック **各地域にアクセスし、ブロック会議へと連動**

基幹相談支援センター・行政に現状の相談支援体制の聞き取りをおこなっています。それをもとにブロック会議で地域の実践報告をし、相談支援体制の構築を進めています。令和 5 年度までに各地域に基幹相談支援センターが全て設置（広域設置含む）される予定で、熱く盛り上がっています。

輪づくりネット！～南部ブロックの取組～

令和 4 年度から、地域作りに奮闘している相談支援専門員が気軽に参加できる「場」であり、お互いに刺激や元気を与えあえる「輪づくり」を目指した取り組みを始めました。2 か月に 1 回のペースで開催。ブロック会議や基幹センター連絡会では会えない方も出会えるし、飾らない言葉で情報交換・意見交換できるのが魅力。地域の連携のコツ、地域生活支援拠点の状況や、計画相談の課題の対応など話題は様々。今後は、地域支援体制の整備を推進する主任相談支援専門員が集まる「場」に発展できるかも。普段背負っているものを一旦置いて繋がれる「輪づくりネット」に手ごたえあります。

SSA 会員になって共に活動すると？ 「会員募集」

地域を超えた仲間と一緒にスキルアップ！仕事と地域づくりの方向性が見えてくる！

当協会では、会員になって共に活動していただける方を随時募集しています。会の活動にご興味があり、自分自身のスキルアップを図り、地域づくりに取り組みたい方や仕事の方向性等に迷っていて、それを考えるきっかけが欲しい方、以下アドレスにご連絡ください。

【入会連絡先】 特定非営利活動法人埼玉県相談支援専門員協会 info@ssa-b.com

入会年会費（個人） 入会金 1,000 円 年会費 5,000 円 * 個人会員のみとなります

編集後記

記事内容は SSA 活動の一部分です。

今回は、県内で行われている研修や相談支援体制づくりの事業が、そして SSA が皆様の身近に感じ、力になればと思いい、作成しました。いかがでしたか？

相談支援は魅力ある仕事ですよ。一緒に、魅力を再確認し、発信し、広げていきましょう。相手と自分と地域が生き生きと輝きますように。

